

地域連携アドバイザー紹介

鹿児島県では、県内各地で地域課題の解決に向けて取り組む団体を支援するため、地域づくりにおける専門的な知識や経験を有する13名の方々を『地域連携アドバイザー』として登録し、紹介しています。

地域で活動する団体のもとへ『地域連携アドバイザー』を派遣し、団体が抱える課題の解決に向けて助言・伴走支援を行います。

地域連携アドバイザーと共に考え、課題解決のヒントを得て、活動を前進させましょう！

※五十音順

01



石川 秀和

株式会社まちの灯台阿久根 代表取締役

千葉県出身、2003年に京都で古ビルや工場など事業用建物をリノベーションする会社を起業。オフィス街にある複数の古ビルをシェアアトリエとしてリノベーションすることでエリア全体をアーティスト、クリエイターの町としてブランディングすることに成功した。2015年に阿久根市地域おこし協力隊となり、地域課題を事業を通して改善するプロジェクトを企画、実施。主な実績は、古ビルのリノベーションにより水産業の課題改善を目指した「イワシビル」、異なる地域の課題を掛け合わせて双方の課題解決に取り組む「サカナヤマルカマ」、観光協会を再生し民営化したまちおこし会社「まちの灯台阿久根」など。まちの灯台阿久根では地域おこし協力隊の受入れ、サポート業務も行い、高い定住率も実現している。

支援内容

- ① 空き家、地域資源を活用するまちづくり
- ② リノベーションとゲストハウス開業
- ③ エリアリノベーション戦略
- ④ 観光協会のバージョンアップ
- ⑤ まちおこし企画、事業の作り方



活動先サイト

02



市村 良平

株式会社スタジオグッドフラット 代表取締役

島根県生まれ。鹿児島大学大学院修了（建築学専攻）後、鹿児島市内の商業施設でコミュニティスペースの企画運営を担当。独立後は、中心市街地活性化や公共空間の利活用、男女共同参画、子育て支援など、社会課題解決に向けた取り組みをサポートする事業を展開。計画策定や計画実施に伴うマネジメント、イベントの企画・運営（コーディネート・ファシリテーション）を行う。地域・社会で、人、モノ、コトが活躍できるフラットな環境作りを目指す。

2021年よりgallery HINGEを共同運営。2023年11月に自身の生活圏内に惣菜店「笹貫キッチン」をオープンし、地域の暮らしをサポートする取り組みも進めている。

支援内容

- ① 地域づくり、社会課題解決に向けた計画・企画づくり
- ② 建築・公共空間の利活用
- ③ イベント、セミナー、ワークショップ等の企画・運営



活動先サイト

03



太田 敬介

特定非営利活動法人SCC 理事長

平成12年NPO法人SCC設立。法人のビジョンとして「①三世代が通えて、生活を豊かにするクラブ」「②地域の人たちが、みんな知っていて、つないでいけるクラブ」「③100年、200年続くために変化、挑戦でできるクラブ」を掲げて活動。

主な活動内容は、①会員向けのスポーツクラブ運営、②イベント（全国的に実施されているダッシュ王選手権はSCCが初）等の実施、③指導者派遣の3本柱。

総合型地域スポーツクラブ運営を通して、高齢者・初心者も取り組みやすい教室から、オリンピック出場を果たす教室まで幅広く手掛け、スポーツイベント開催を積極的に行う。PTA活動や保護者と教師が協力して教育活動を進める取組も展開中。

支援内容

- ① 総合型地域スポーツ 多世代、多種目、多志向(初心者からトップレベルまで)のスポーツを通じた地域づくり
- ② 運営・経営 組織の運営や経営計画書(ビジョン/ミッション/商品/管理会計)
- ③ イベント スポーツに関するイベント開催や指導者派遣



活動先サイト

04



加藤 潤

特定非営利活動法人頼娃おこそ会 副理事長
株式会社まるのこラボ 代表取締役

埼玉県出身。2010年に南九州市頼娃町へIターン移住し、弟とともに観光養殖場「タツノオトシゴハウス」を立ち上げ、NPO法人頼娃おこそ会の観光プロジェクトリーダーとして、観光地ではなかった頼娃を地域ぐるみで観光地に成長させる。石垣商店街を中心に、6年間で11軒の空き家を交流拠点や宿に再生し、頼娃に交流人口や移住者を呼び込む。

2021年から「コミュニティ大工」を名乗り、県内各地で、空き家再生のハードからソフトまでを担う。

支援内容

- ① 空き家再生 改裝作業とその前後のソフト部分をめたDIY型の空き家再生支援
- ② 移住・創業支援/地域おこし協力隊運営 地域での移住者・協力隊員受け入れとなりわいづくりの応援
- ③ 観光まちづくり 地域団体の設立・運営、団体を通じた行政連携型の観光地づくり



活動先サイト

05



亀井 愛子

喜入子育てコミュニティKADAN 代表
浄土真宗本願寺派善行寺 坊守

宮崎県都城市出身。結婚を機に鹿児島市喜入に移住。自らの子育て経験を基に、地元の子育て情報（遊び場・買い物・習い事等の口コミ情報）を得る手段の必要性を感じ、2014年2月、「喜入子育てコミュニティKADAN」を設立。インターネットを活用した子育て支援に関する情報提供とともに、喜入地域の活性化を目的とするイベント・交流会を企画・運営。

また、「子どもの貧困」解決の視点の他に、「地域住民や多くの世代の者が子育て支援に関われる場」として「喜入子ども食堂」を運営している。2020年には「草刈りツーリズムプロジェクト」により老若男女すべての世代に雇われる仕掛けを構築し、2022年には空き家再生を手がけ、コミュニティハウス・子ども百貨店を運営。

支援内容

- ① 子ども食堂 子ども食堂の運営
- ② 企業との連携 子ども食堂で提供される食材は、農家や企業等の寄付によるものが多数
- ③ 居場所づくり 全世代に嬉しいイベント開催や居場所づくり



活動先サイト

06



下吹越 かおる

NPO法人本と人をつなぐ「そらまめの会」理事長
指宿市立指宿図書館館長 ブックカフェ号隊長

2014年、NPO法人本と人をつなぐ「そらまめの会」の理事長就任。2007年から保育士やおはなしボランティアの経験を活かし、指宿図書館・山川図書館の運営開始。

2015年、指定管理者として図書館の運営をしながら、クラウドファンディング「鹿児島・指宿から全国へ！すべての人に本のある空間を届けるブックカフェプロジェクト」を487人の方の支援をもらい達成。

2018年にはブックカフェ号で横浜往復、2023年には名古屋往復し、人と本をつないできた。図書館を活動拠点とし、本に関心を持つ人たちと連携を図りながら、交流と学習の機会・読書環境づくり・地域文化の継承・「文化×まちづくり」に努め、子どもを育てやすい地域社会づくりを進めている。

支援内容

- ① 指定管理 NPOによる公共施設の指定管理者制度での運営
- ② 寄付 クラウドファンディングの取組
- ③ 子育て支援 親子参加のイベント開催、講演会での講話、よみきかせ研修講師



活動先サイト

07



白水 梨恵

一般社団法人横川kito

鹿児島市出身。IT企業にて全国の特産品EC販売・商品開発に従事。その後、東日本大震災をきっかけに地域の中堅支援組織育成・社会起業支援を行うNPO法人ETICへ入職。震災復興事業・地域支援コーディネーターを経験後、2013年に鹿児島市へUターン、2017年には霧島市国分へIターンし、県内若手人材のキャリア教育事業等に携わる。

2020年、霧島市横川町の地域環境や魅力に心を掴まれて移住。同時に地域活性化を目的とした一般社団法人横川kitoを立ち上げ、昭和6年築の空き家を活用したカフェ&ゲストハウス横川kitoを開業。

近隣地域の若者や移住者・関係人口等を中心としたコミュニティを作りながら地域の課題解決を目的とした企画事業を運営している。

支援内容

- ① 空き家再生（ソフト面） 施工等ハード面が終わった後の活用・運営方法などソフト面の工夫
- ② 地域の人材育成・移住関係人口創出 地域の若手人材の発掘・育成、地域外からの「関わり方」の工夫など
- ③ 地域資源の事業化 「地域ならではの」を感じさせる資源活用等



活動先サイト

08



鈴木 芳乃 御菓子司 鳥越屋 代表取締役社長 摺若会（若手会）会長

大正8年創業の菓子店「鳥越屋」4代目店主。人口が少なくなっている湯の浜地域で、和菓子屋を続けていくのか、お店をたたむのかという岐路に立った時、指宿の地域や観光客に少しでも還元できるように頑張りたいという思いから、お店に人が集まる空間を設け、リニューアルを行った。

また、砂むし温泉や元湯、子宝の神社と言われる若宮神社などがある摺ヶ浜で「摺ヶ浜に住んでいる人たちが楽しみながら地域をもっと元気にしたい」と、若者を中心に平成25年に発足した「摺若会(若手会)」の会長を務める。JRとタイアップしたウォーキングイベントや女性を応援したい有志と実行委員会を立ち上げ「寛宿祭(ほうすきさい)」という女性御輿の祭りを企画、開催。

支援内容

- | | |
|-----------|-------------------------|
| ① 商品開発 | 地域の特産品を活用した加工品開発 |
| ② 他団体との連携 | 地域に動線が生まれるような連携する仕組みづくり |
| ③ 施設運営・経営 | 宿泊施設運営等を通じた地域活性化 |



活動先サイト

09



中原 晋司 中原水産株式会社 代表取締役 「出汁の王国・鹿児島」プロジェクト実行委員会 会長

かつお節生産量日本一の鹿児島県枕崎市生まれ。

2008年にUターンして家業を継ぎ、かつおせんべいやだしバックなど、かつお節を活用した特産品の開発や、かつお節工場見学・おだしの引き方教室などの体験型商品の開発など、おだし文化を発信する事業を展開。

また、かつお節以外の特産品を県外・海外などに拡販する産地商社事業、JR指宿枕崎線でのイベント列車企画・運営などローカル線を活性化させる事業（南九州鉄道プロジェクト）も行っており、地域の価値を向上させる事業を立ち上げ、軌道に乗せることに注力している。

支援内容

- | | |
|------------------------|-----------------------------|
| ① 事業化 | 地域資源を活用した事業の立ち上げ・採算確保を行い継続化 |
| ② 特産品・体験型商品開発 | 地域資源の活用・企業や地域との連携 |
| ③ 目的達成のためのプロジェクトづくり・運営 | 企業や地域が連携した課題解決プロジェクト運営 |



活動先サイト

10



永山 恵子 特定非営利活動法人地域サポートよしのねぎぼうず 理事長

住んでいる地域をもっと知りたいという想いから、自分の興味や関心のあることをテーマに地域の取材を続け、平成5年から約10年間、地域情報誌を発行する。

地域全体の取材を続ける中で、様々な地域のニーズがあることに気づき、地域を総合的にサポートしたいと、平成17年4月、NPO法人「地域サポートよしのねぎぼうず」を立ち上げる。

高齢者や子育て中の方々の生活支援などの他に、「自分たちの地域は自分たちで守ろう!」と自主防犯組織や、地域活性化のために地域文化の創造を構築し、イベントの開催など地域おこし活動にも取り組む。

支援内容

- | | |
|-----------------|----------------------|
| ① 高齢者・買い物弱者支援 | 高齢者や子育て中の方への生活支援 |
| ② 地域の安心安全・地域活性化 | 高齢者・子どもの安全、地域イベントの開催 |
| ③ 製造・販売 | 地域ブランド品の製造・販売 |



活動先サイト

11



村上 裕希 一般社団法人E'more秋名 代表理事

龍郷町地域おこし協力隊として2016年に奄美大島(秋名集落)に移住。地域住民と共に「50年後も子供達が住みたいと思うシマ(集落)であって欲しい」を合言葉に2018年11月に一般社団法人「E'more(いもーれ)秋名」を設立。集落の魅力的な暮らしぶりを将来に繋げる為に、空き家を活用した一棟貸の他、町立飲食宿泊交流拠点「荒波のやどり」の指定管理業者として地域主体の「暮らしを伝える」体験型観光を展開。

旬の食材を生かした地元主婦が作る家庭の島料理「おっかんの旬替わり定食」が看板メニュー。

また、島外大学生を対象にした住み込みによる実践型インターンシップの導入や、大手企業向け研修の受入・コーディネートなど、島外人材・組織との連携を通じた関係人口づくり事業を進める。

支援内容

- | | |
|--------------|----------------------------------|
| ① 地域資源の利活用 | 飲食宿泊交流拠点の運営、地域の魅力を伝えるお店・プログラムづくり |
| ② 関係人口創出 | 実践型インターンシップの導入、大手企業研修受入・コーディネート |
| ③ 地域おこし協力隊支援 | 地域おこし協力隊の導入・伴走支援 |



活動先サイト

12



山本 美帆

株式会社しものみもと 代表取締役
一般財団法人かごしま島嶼ファンド 理事 兼 事務局長

鹿児島市出身。大学卒業後、上場企業の電機メーカーの財務経理業務を経験。夫の転勤を機に奄美大島へ。“転勤族でも子育て中でも働きたい”“多世代交流や女性やママたちのチャレンジが始まる拠点を作りたい”と、地域の協力を経て、2018年秋に瀬戸内町阿木名集落に空き古民家をリノベーションしたチャレンジ&コミュニティスペース「HUB a nice d!」を開設。時間・曜日別で店舗を貸し出すチャレンジショップ運営や、子育てママの居場所作りワーキングスペース貸しなどを通して多世代間交流や創業の支援を行う。奄美大島と鹿児島市の2拠点生活中。また、鹿児島の島嶼地域を対象にしたコミュニティ財団設立に向けて事務局長として奮闘中。

支援内容

- ① チャレンジ&コミュニティスペースの運営 拠点づくり、コミュニティ構築の助言サポートなど
- ② イベント運営/ファシリテーター 協議会等の会議ファシリテーター、ファシリテーター育成サポート
- ③ NPO法人など非営利法人の設立サポート NPO法人設立に向けた事務手続きの助言サポートなど



活動先サイト

13



四元 朝子

サンカイ・プロダクション合同会社 代表

株式会社ワコールアートセンター／スパイラル広報を経てアヴィニオン大学アーツマネジメント学科へ編入。在仏中に、パリ地下鉄公団 デザインチーム リサーチャー、フランス国立創造サイト パレ・ド・トーキョーキュレトリアルアシスタントの後、帰国。

2013年かごしま文化情報センター（KCIC）の立ち上げ。2016年サンカイ・プロダクション合同会社を設立。2020年に霧島アートの森「つくるスポーツ／するアート」の企画に携わり、2021年よりgallery HINGEを共同運営。現在は文化芸術、福祉分野の広報PRを専門に鹿児島と東京2拠点生活。

支援内容

- ① パブリックリレーションズ 広報PRのためのコミュニケーション設計、プレスリリースなどのメディア発信など
- ② アートコーディネート アート、デザイン等のイベントなどに関する企画・運営
- ③ アーカイブ作成 活動を残し、伝える記録作成



活動先サイト